

第10回群馬県レジェンドCUPゴルフ場対抗競技 予選

■開催日：令和4年7月14日（木） ■会 場：初穂カントリークラブ

本競技は、日本ゴルフ協会発行のゴルフ規則と、このローカルルールと競技の条件を適用する。
本書に記載のない事項や追加変更がある場合は、競技会場での掲示物に掲載されるので必ず参照すること。
ゴルフ規則によって別に定められている場合や本書に罰が記載されている場合を除き、このローカルルールと競技の条件の違反の罰は「一般の罰（2罰打）」となる。

ローカルルール

1. アウトオブバウンズ（規則18.2）

アウトオブバウンズは白杭のコース側を地表レベルで結んだ線によって定められる。
ただし、4番～6番、10番～18番の間にある白杭を越えた球はOBとする（ラインOB）。

2. ペナルティエリア

レッドペナルティエリアは赤杭または赤線をもってその限界を標示する。線と杭が併用されている場合は線がその限界を標示する。

3. 異常なコース状態（動かさない障害物を含む）（規則16）

(a) 修理地

青杭を立て、白線で囲まれた区域。

(b) 動かさない障害物

4. 動かさない障害物

(1) 排水溝

(2) 複数の動かさない障害物が接している場合、それらは一つの動かさない障害物として扱われる。

(3) 動かさない障害物と白線でつながれている区域は、その動かさない障害物の一部として扱われる。

5. プレー禁止区域

電磁誘導カート用の2本のレールは、全幅をもってプレー禁止区域であり、異常なコース状態として扱われる。ただし、スタンスだけ障害となる場合は、そのままプレーすることもできる。

6. クラブと球の規格

(a) ストロークを行うために使うドライバーは、R&Aが発行する最新の適合ドライバーヘッドリストに掲載されているクラブヘッド（モデルとロフトで識別される）を持つものでなければならない。

(b) ストロークを行うときに使用する球はR&Aが発行する最新の適合球リストに掲載されていないと
ならない。

このローカルルールの違反に対する罰：失格

7. ゴルフシューズ

正規のラウンド中、プレーヤーは下記の特徴を持つシューズを履いてはならない。

伝統的なスパイクすなわち、地面を深く貫くようにデザインされた1つあるいは複数の鋳を有するスパイク（メタル製、セラミック製、その他の材質かは問わない）

このローカルルールの違反に対する罰：失格

8. プレーの中断と再開 (規則 5.7)

(a) 即時中断 (落雷時、切迫した危険がある場合)

委員会がプレーの即時中断を宣言した場合、すべてのプレーヤーは直ちにプレーを止めなければならない。委員会がプレーを再開するまでは、別のストロークを行ってはならない。このローカルルールの違反に対する罰：失格

即時中断中は、委員会がオープンと宣言するまですべての練習施設はクローズとなる。クローズとなった練習施設で練習しているプレーヤーは練習を止めるように要請される。その要請に従わなかった場合、失格とすることがある。

(b) 通常の中断

ゴルフ規則 (5-7 b, c, d) に従って処置すること。

(c) プレーの中断と再開の合図

通常プレー中断	:	カーナビの無線により通知する。
険悪な気象状況による即時中断	:	カーナビの無線及びホーンにより通知する。
プレーの再開	:	ホーン及びカーナビの無線により通知する。 と同時に本部より競技委員を通じてプレーヤーに連絡する。

9. 練習

ホールとホールの間、プレーヤーは次のことをしてはならない。

終了したばかりのグリーンやその近くで練習ストロークをおこなう。または、終了したばかりのグリーンの表面をこすったり、球を転がすことによってグリーン面をテストする。

10. コールオン方式について

ショートホールにおいて後続組がティーイングエリアで待っている時には、前の組との間隔を考慮したうえで全員の球をマークして拾い上げ、プレーヤーの判断で後続組にティーショットを打たせる事が出来る

11. ローカルルールの変更または追加の時は、クラブハウス内に掲示する。

競技の条件

1. 参加資格

プレーヤーは競技実施要項に定められた参加資格を満たさなければならない。

2. 委員会の裁定

委員会は競技の条件を修正する権限を有し、すべての事柄についてこの委員会の裁定は最終である。

3. タイの決定方式

競技実施要項に定められた通りとする。

4. 競技終了時点

競技委員長の成績発表がなされた時点をもって終了したものとみなす。

5. 悪天候等により、プレーヤー全員が 18 ホールを消化できない場合は 9 ホールに短縮して競技成立とする場合がある。

